

一以貫之

平成29年度 敦賀気比高等学校 第1学年
学年通信 第11号
平成30年1月9日(火)

(いちいかんし) 「一を以って之を貫く」とも読みます。
孔子の『論語』にある言葉で「一つの思いを 曲げずに貫き通す」という意味です。
自分がこれと思ったことは、諦めずに最後まで頑張り通しましょう!

2年生0学期を迎えて ～ 学年主任より ～

新年、明けましておめでとうございます。

月日のたつのは早いもので、皆さんは4月にこの高校に入学したわけですから、あと3ヶ月で1年が過ぎるということになります。

この事実が意味することは、あと3ヶ月すれば後輩ができるということであり、そのためには、皆さん一人一人が自覚を持って敦賀気比高等学校の生徒としての模範を示す存在にならなくてはならないということです。

この1年を振り返ってみてください。

特に部活動をしていた人ならよく分かると思いますが、先輩の中にはよい先輩もいたでしょうが、そうではない先輩もいたはず。皆さんも、順調にいけば3ヶ月後には先輩といわれる存在になるわけ。その時に、よい先輩になりたいですか、それともよくない先輩になりたいですか。



技術的な上手下手はあるかも知れませんが、物事への取り組み方であったり、人との接し方であったり、人として尊敬される存在になりたいとは思いませんか。

このような人になるためには、今何をすればいいのでしょうか。

それは、今の時期から2年生という自覚を持った行動をとるということではないでしょうか。

皆さんが2年生とよばれるのは4月からですが、3年生も登校しなくなるこの3学期を2年生0学期と考え、よい先輩としての行動を身に付ける期間として欲しいと思います。

行事予定

1月	9日(火)	第3学期始業式
	13日(土)	休業日
	13日(土)	大学入試センター試験
	～14日(日)	(国公立大学を目指す人は、2年後に受験することになります。)
	14日(日)	附属中学校入試
	20日(土)	県模試(大学進学を希望する人は、受験を考えてみてください)
	21日(日)	英検(1次)
	22日(月)	休業日 高校・推薦制入試
	23日(火)	実力テスト(進学コース)
	27日(土)	休業日
	26日(金)	高3・卒業試験
	～31日(水)	(いよいよ3年生がいなくなります。2年生の自覚を持ちましょう。)



【保存版】進路について調べてみよう

少し気が早いかなとは思いましたが、先月発行の学年通信第10号で『評定平均』の話を書かせてもらいました。それは、「先ずれば、人を制す」という言葉もあるように、できるだけ早い時期にこれからの人生目標を立てることで有利になることが多くあり、皆さんには、少しでも早く進路について真剣に考えて欲しいと思っているからです。

さて、この目標を早く決めることの有利さは、皆さんが知る多くの有名人の経験を聞けば明らかです。こうした人達は、今ある自分の姿になることを、かなり早い時期に意識しているからです。

例えば、現在大リーグのヤンキースで活躍する田中将大投手は、そうなるためには、どこの高校に行けばよいのかを考えて高校を選択し、どのような力をつければ目標に近づけるのかを考えて(全国大会で優勝することなどは目標にすることなく)高校生活を送り、結果的に日本のプロ野球選手を経て、現在の地位をつかみ取ったのです。



こうした例を見ると、高校生にもなって将来の目標が1つもないというのは恥ずかしいくらいです。とはいえ、そう簡単に目標が決まらないのも現実です。様々な経験を通して、じっくりと将来の目標を決めるというのも1つの方法です。

そこで注目したいのが、**進学指導部横(管理棟2階第1職員室前)の掲示板**です。

皆さんは、1度はこの前を通ったことがあるはずですから目にしていると思うのですが、ここでは**3年生の先輩たちがどんな所へ進学や就職をしているのか**を知ることができます。これを見れば、皆さんの2年後の姿を簡単に想像することができるはずです。



もし、この中に進学や就職したいところがあったならば、直接その先輩に話を聞きに行くこともできます。そして、どのようにすれば希望が叶えられるかというアドバイスがもらえるかも知れません。

また、先輩に直接話を聞くのが恥ずかしいというのであれば、進学指導部の先生に聞いてみるのもいいかもしれませんし、大学や会社のホームページにアクセスするという手もあります。

このようにして、**いち早く役に立つ情報を手に入れておく**ことが大切です。

さて、この掲示板には、もう一つ大事な情報が張り出されています。

それは、大学や短期大学の今年度の**指定校推薦の依頼校の一覧表**であり、進学を希望している人は必ず見てほしい表です。

まず、依頼校一覧を見ると、S指定校・H指定校・N指定校の3つに分類されることが分かります。本校の場合、指定校の受験を許可するときに校内選考試験を行うことがありますが、**S指定校ならば英検2級、H指定校なら英検準2級、N指定校なら英検3級程度の英語の力**がないと選抜されない可能性があるということを意識して欲しいと思います。

こうした力を**3年生の1学期までに身に付ける**ように頑張ってください。



また、それぞれの大学には評定平均がいくつ以上という条件もあります。英語ばかりではなく、評定平均の条件もクリアできるように、**普段の授業にも力を入れる**ことも必要です。学年通信の先月号を見返して、**自分自身の評定平均を計算しておく**と自分が力を入れべき教科が何かを具体的に知ることができますので、活用してください。